

第3章 研究を終えて

『情報化に対応する教育』の推進に関する研究」を研究主題とし、「中学校社会科における『メディア・リテラシー教育』の研究」「デジタル教材を活用した算数科授業の推進について」「長期休業中における家庭での学習を支援するWeb Based Training」を個人主題として研究を進めてきた。その結果「情報化に対応する教育」の推進について以下のことが明らかになった。

(1) 中学校社会科における「メディア・リテラシー教育」の研究

情報化に対応するためには、情報を運ぶメディアについて学び理解を深めることが欠かせないことが分かった。メディア・リテラシーの3要素を具体化・細分化したため、具体的な学習活動がイメージしやすくなった。実施案は、中学校社会科で「メディア・リテラシー教育」を実施しようとしている教師の参考になると考えられる。また、「メディア・リテラシー教育」は、社会科本来の目標を達成するために有効であること、社会的事象に対する生徒の興味関心を高める上でも、社会的事象の理解を助ける上でも有効であること、多くの資料を詳細に読み解くために有効であることが分かった。

(2) デジタル教材を活用した算数科授業の推進について

Web上に公開されているデジタル教材を算数科授業で日常的に活用できるようにするための一つの方法として、活用計画表を作成した。また、コンピュータに関する高度な知識や技能がなくても、汎用性のあるソフトウェアのアニメーション機能などを使い、デジタル教材を作成できることが分かった。そして、Web上に公開されているデジタル教材や自作のデジタル教材を活用した授業実践により、それらのデジタル教材も、児童の学習内容に対しての興味・関心を喚起し、理解を促進したり定着を助けたりするために効果があることが明らかになった。

(3) 長期休業中における家庭での学習を支援するWeb Based Training

それぞれの家庭でネットワークの環境が整いつつある今、「いつでも」「どこでも」「何度でも」学習できるこのWeb Based Trainingという学習システムは家庭学習の有効な手段であることが分かった。特に、学習にかかわる様々な情報をもつ学校が情報を配信し、それぞれの子供の良き理解者である教師が学習支援を行うことができれば、登校しない時期や児童の学習を効果的に支援できると考えられる。

以上のように、本研究を通して「情報化に対応する教育」の推進に向けて、メディア・リテラシー教育やWeb Based Trainingのような発展的な課題に対する提言、デジタル教材活用のような今日的課題に対する提言をすることができた。しかし、これらの提言は「情報化に対応する教育」を推進していくためには、ごく一部分でしかない。これらの研究を足掛かりとして、今後それぞれの地域で「情報化に対応する教育」の推進の一助になれるように研究を広げ、深めていきたい。